

現場組立式

サンソ小屋

台付掛(別売品)を取り付けて、玉掛ワイヤーの保管小屋としてもご使用下さい。



労働安全衛生規則 第263条、第264条に基づき現場で使用するサンソボンベ、アセチレンボンベを安全に整理整頓して保管するための小屋です。



●転倒防止チェーン・組立ボルト・スパナが付いています。

別売品：仕切板A(下部用)

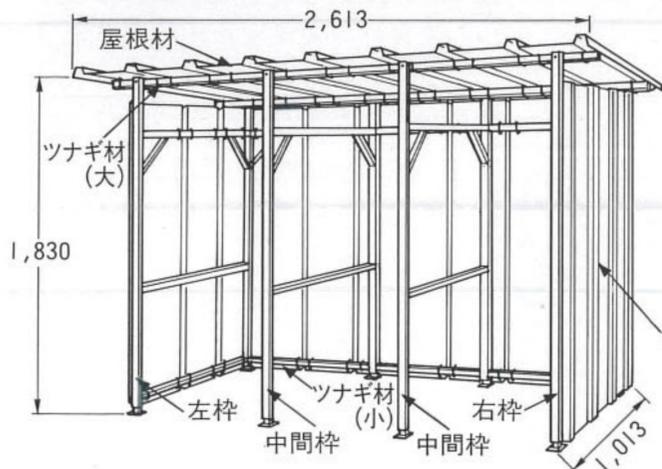


●仕切板Bは上部用

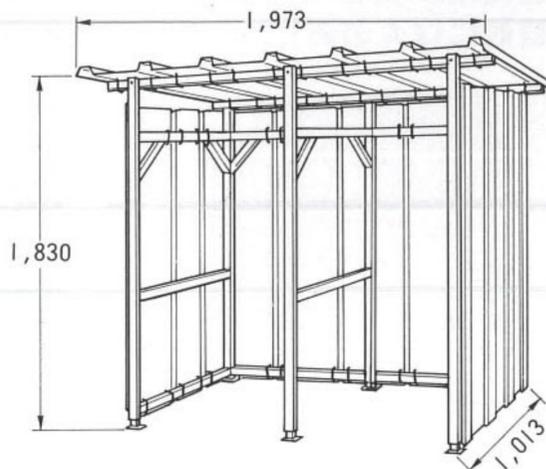
別売品：台付掛



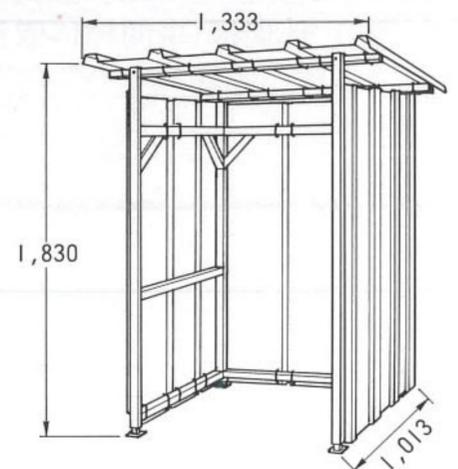
●1小間に2本まで



SH-1型(サンソ小屋におすすめ)



SH-2型(玉掛小屋にも使えます)



SH-3型(玉掛小屋におすすめ)

特長

- 直射日光より守り、高温になりにくい。
- サンソ、アセチレンの充瓶、空瓶の仕分けができる。
- チェーンの設置により瓶の転倒を防ぐ。
- 組立、分解、移動が簡単に出来る。
- 組立、分解はスパナ(付属品)一丁で出来る。
- 仕切板(別売品)を付ければクランプ等の小物部品の仕分けができる。
- 台付掛(別売品)を付ければ玉掛ワイヤーの仕分けができる。
- 屋根材及び囲い板は十分な強度の折板を使用している。
- 別売品として現場作業時に直射日光からボンベを守るためのボンベカバーもあります。

参考

- 第263条** 事業者は、ガス溶接等の業務に使用するガス等の容器については、次の定めるところによらなければならない。
1. 次の場所においては、設置し、使用し、貯蔵し、又は放置しないこと。
 - イ. 通風又は換気の不十分な場所
 - ロ. 火気を使用する場所及びその附近
 2. 容器の温度を40度以下に保つこと。
 3. 転倒のおそれがないように保持すること。
 4. 衝撃を与えないこと。
 8. 溶解アセチレンの容器は、立てて置くこと。
 9. 使用前又は使用中の容器とこれら以外の容器との区別を明らかにしておくこと。
- 第264条** 事業者は異種の物が接触することにより発火し、又は爆発するおそれのあるときは、これらの物を接近して貯蔵し、又は同一の運搬機に積載してはならない。

組立順序(一人でも40分~50分で組立て出来ます)SH-1型

1. 左枠を建て、ツナギ材(小)を取り付ける	2. 中間枠を付けツナギ材(小)を取り付ける	3. 2.のくり返して、右枠を取り付ける
4. ツナギ材(大)を2本取り付ける	5. 屋根材を取り付ける(短い板)	6. 囲い板を取り付ける(長い板)

● ツナギ材(大)は必ず柱の内側に取付けて下さい。

お願い

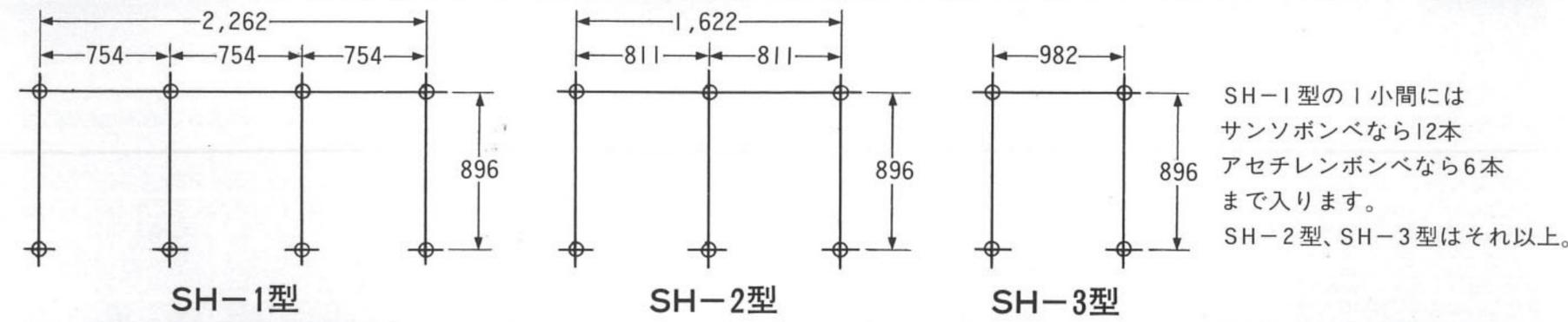
フックボルトの取付け方向
側断面

屋根材
ツナギ材(大)
ツナギ材(小)
囲い板

① 波板は下図の取合せになります。
② 屋根材にはフックボルトにパッキンを使用して下さい。

フックボルト

アンカー位置図 ● 風の強い所ではアンカーボルト(M10又は3/8)を現場で用意して施工して下さい。



別売品(より機能的にお使いいただくために)

No.1. 仕切板(中間枠に取付け・一般的にはAのみ)

A (下部用)
(組立てボルト 8本付)
寸法 1,006 × 840

B (上部用)
(組立てボルト 10本付)
寸法 1,006 × 717

No.2. 台付掛(1小間に2本まで取付け可能)ボルト2本付

● SH-1型用：全長780
● SH-2型用：全長837

● SH-3型用：全長1,008

No.3. ボンベカバー

防火、防水仕様のカバー
● 1セット(サンソ用・1 アセチレン用・1)

サンソ

アセチレン

部材数量表

型 式	SH-1	SH-2	SH-3	
小 間 数	3	2	1	
主 用 途	サンソ小屋	サンソ小屋 玉掛小屋	玉掛小屋	
左 右 枠	各1	各1	各1	
中 間 枠	2	1	0	
屋 根 材	8	6	4	
囲 い 板	13	11	9	
ツ ナ ギ 材 (大)	2	2	2	
ツ ナ ギ 材 (小)	6	4	2	
組立用ボルトセット	フックボルト(パッキン付)	32	24	16
	フックボルト	52	44	36
	ボルトナット(M6×70)	8	6	4
	ボルトナット(M6×40)	12	8	4
	チェーン	3	2	1
ス パ ナ	1	1	1	
重 量 (KG)	120	93	66	
別売品	仕 切 板 A	2	1	0
	仕 切 板 B	2	1	0
	台 付 掛	6	4	2
	ボンベカバー	サンソ用・1 + アセチレン用・1		

※別売品の数量は取付け可能な最大数量です。